

地質ニュース

昭和 43 年 9 月

第 169 号

1968

解 説	えびの地震予察調査速報(その2)	福田 理	1
		木野 義人 中 条 純輔 黒 田 和 男	
	中震首都圏をおそう	福田 理	20
トピックス	臨海平野部の地盤沈下について	小 鯛 桂 一	24
	北海道支所創立20周年記念式典行なわれる	斎 藤 正 雄	26
	ダイヤモンドのおいたち ⑤	砂 川 一 郎	27
	きんのはなし ③	高 島 清	30
	ポーフィリーカップー鉱床 ⑥	石 原 舜 三	36
海外事情	Al Wajy への道	小 村 幸 二 郎	48
	学会掲示板		19
	地学と切手	堀 内 恵 彦	47

編 集 地 質 調 査 所

表紙の写真

乾 痕 (sun-cracks)

(能登路11)

干潟や干上がった湖底 もっと普通には水の溜れた水田などの表面に 亀甲形の割れ目が縦横に走っているのを見かける 写真は七尾地域の野外調査の際 たまたま栗山湖という農業用の溜池で出くわしたものである ダムの修理のため排水したあとの湖底面に描かれた 自然のモザイク模様の美しさに惹かれてカメラを向けた このような亀裂は乾痕あるいは乾裂とも呼ばれ 泥などの堆積物が乾く際容積が減って表面に多くの凝縮の中心ができるため 亀甲形の割れ目として生じるのである 乾痕が地層のなかで層理面上に堆積岩の初生構造として保存されていることがあり とくに乾燥地帯においてしばしばみられる (盛谷智之)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社